

だろうという事の想定を要望する。

〇学童クラブの預り学年の引き上げについて

節電を考える

中村 安雄 議員

〇断熱フィルムの使用による節電対策の推進について

質問 自然の太陽光を受けて暑さ、寒さがあるわけですが、最近この太陽光を断熱・遮熱する非常に有効なフィルムが出来たと紹介されていた。太陽から地球に降り注ぐ熱は紫外線が4%、可視光線が46%、近赤外線が50%となっている。可視光線は明るさの確保に必要であり、紫外線と近紫外線を除くことが出来れば快適な環境となる。この部分を、このフィルムは有効に遮断することが出来る。また、フィルムにも二通りあり使い分けが必要となるようである。長所・短所もあり、冷房効率は良いが部屋が暗くなり照明負担が増加することもあるとか、曇った日には外が見えにくく不愉快だとか、環境変化が少なくストレスが増大するとか、明るいタイプを選択すると熱遮断性が不足するといったことがあるようだ。

この前、新聞で紹介されていたが、つくば市が昨年12月に実験をしたところ温度差が8度もあるといったいい結果が出たようだ。今回は600万円くらいの補正予算を組み、庁舎の南側全面に貼り付けるようである。常総市では、石下庁舎が特に、まぶしいくらいの光線が入り込むようであり、つくば市の例をよく検討し、導入に向けての取り組みを願いたい。私が。

答弁(企画部長)

現在、官公庁・企業・各家庭においてさまざまな節電対策に取り組んでいるが、その一つとして、議員ご指摘の窓ガラスに遮熱フィルムを張ることによる節電対策がある。この対策は比較的容易に取り組むことが出来、冷暖房効果が高まることによる節電。また、ガラスの飛散が防がれることもあり、地震等の災害時に身を守る効果や外部からの進入を防ぐなどの相乗的な効果があります。しかし一方で、施工コストが高価であること、耐用年数、遮熱効果を高めると部屋が暗くなるなどの問題点も、議員ご指摘のとおりである。また、断熱フィルムに変わるものとして、ガラスコーティング剤の塗布といった施工方法もある。市としては以上のことを踏まえ、導入に向けて検討し積極的に節電対策に取り組んでいく。

再質問

遮熱フィルムのほかにガラスコーティング方式があるとの事であるが、その方式の利点は透明であり、明るさも保てるとの事でそれでもいいかなと思う。また、フィルムにも種類があり、メーカーもあるようなので、実際に導入したところの調査をしてみれば、それらの内容はつきりしてくるかなと思う。

私も、個人の住宅ではあるが節電に有効であると考え、このフィルムを発注した。実際、つくば市では導入後8度の温度差があったとの事であるが、正確な資料では6度の温度差が出たとのデータがある。この差は非常に大きいものがある。市でも導入に向けて検討していく必要があると思う。その意味から、継続的に考えていきたい。

〇(その他の質問)

〇震災による公共施設の改修と合併特例事業の大幅な見直しについて

〇太陽光発電の推進と今後の課題について

請願・陳情の審査結果

〔陳情第1号〕

〇常総市全域での大気、土壌、農作物、施設等における放射線量測定の実施に関する陳情 採択

常総市各種委員の推薦について

市長及び教育委員会委員長より推薦を求められたので、次のとおり推薦いたしました。

Table with 2 columns: 委員会名 (Committee Name) and 委員氏名 (Committee Members). Lists various committees and their members.

